

〈第 2 版〉 平成30年2月

フリーフローMPシリーズ  
施工要領書

フクビ化学工業株式会社

## 1. 適用範囲

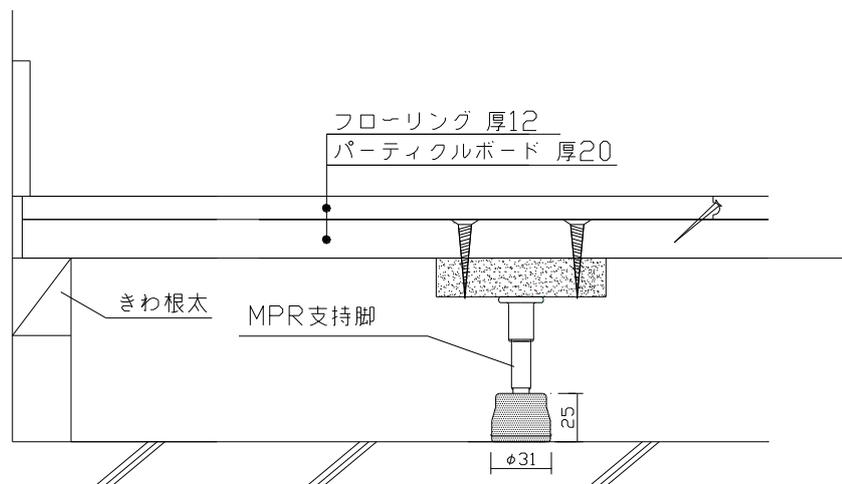
本仕様書はフクビ化学工業(株)製「フリーフローア-MP シリーズ」の工事に適用する。

## 2. 製品概要

### 2-1 工法概要

際根太を基準として2尺×6尺のパーティクルボードを支持脚で連結していく「パネルリンク工法」です。連結したパーティクルボードの目地の隙間を通して床上からレベルを調整することが可能です。

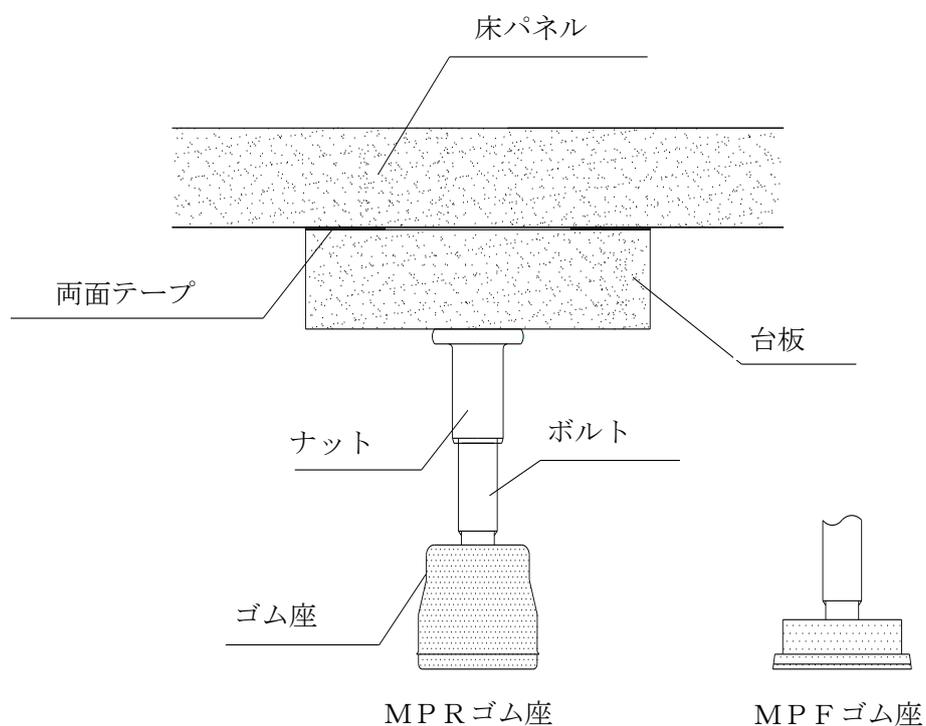
### 2-2 基本断面



### 3. 材料

#### 3-1 材質

| 部材名                 |       | 材質                         | 備考   |
|---------------------|-------|----------------------------|--|
| 床パネル                |       | パーティクルボード<br>JIS・MR1(M)-18 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚 20×巾 600×長 1820 mm</li> <li>・F☆☆☆☆</li> </ul>  |
| MP<br>シリーズ<br>支持脚   | 台板    | パーティクルボード<br>JIS・MR1(M)-18 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚 20×巾 87×長 87mm</li> <li>・F☆☆☆☆</li> <li>・ブチル系両面テープ付</li> </ul>                             |
|                     | ナット   | スチール製                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き長さ 3 mm, 23 mmの 2 種類</li> <li>・クロメートメッキ</li> </ul>   |
|                     | ボルト   | スチール製                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長さ 8 種類</li> <li>・クロメートメッキ</li> </ul>  |
|                     | ゴム座   | M P R                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ 25 mm φ 31 mm 硬度 65°</li> </ul>   |
|                     | M P F | S B R 製                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ 10 mm φ 35 mm 硬度 70°</li> </ul>   |
| フリーフローシステム<br>専用接着剤 |       | ウレタン樹脂系                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・P E ボトル 400g 入り</li> <li>・F☆☆☆☆</li> <li>・4 V O C 適合品</li> <li>・使用量 1 g / 支持脚 1 本</li> </ul> |

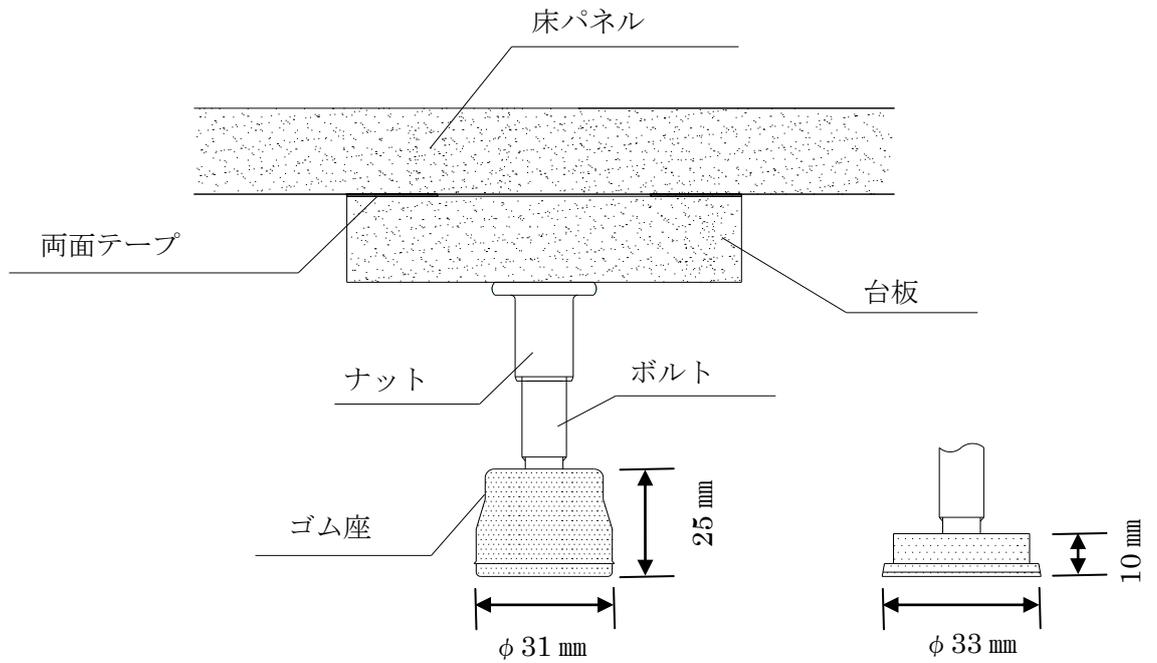


### 3. 材料

#### 3-2 床パネル規格



#### 3-3 支持脚規格



### 3-4 床高調整範囲

#### ●MPR支持脚 (MPR25 ゴム座 25mm) の場合 (mm)

| 品名            | 床パネ 20mm 天端までの<br>高さ調整範囲 | 中央高さ | 最低嵌合<br>寸法 |
|---------------|--------------------------|------|------------|
| MPR支持脚 3-58   | 68~91                    | 80   | 10         |
| MPR支持脚 3-78   | 78~111                   | 95   |            |
| MPR支持脚 3-98   | 98~131                   | 115  |            |
| MPR支持脚 23-108 | 108~161                  | 135  |            |
| MPR支持脚 23-138 | 138~191                  | 165  |            |
| MPR支持脚 23-158 | 158~211                  | 185  |            |
| MPR支持脚 23-178 | 178~231                  | 205  |            |
| MPR支持脚 23-198 | 198~251                  | 225  |            |

#### ●MPF支持脚 (MPF10 ゴム座 10mm) の場合 (mm)

| 品名            | 床パネ 20mm 天端までの<br>高さ調整範囲 | 中央高さ | 最低嵌合<br>寸法 |
|---------------|--------------------------|------|------------|
| MPF支持脚 3-43   | 53~76                    | 65   | 10         |
| MPF支持脚 3-63   | 63~96                    | 80   |            |
| MPF支持脚 3-83   | 83~116                   | 100  |            |
| MPF支持脚 23-93  | 93~146                   | 120  |            |
| MPF支持脚 23-123 | 123~176                  | 150  |            |
| MPF支持脚 23-143 | 143~196                  | 170  |            |
| MPF支持脚 23-163 | 163~216                  | 190  |            |
| MPF支持脚 23-183 | 183~236                  | 210  |            |

### 3-5 捨張合板仕様

| 仕 上 げ 材     |        |        |         |        |
|-------------|--------|--------|---------|--------|
| 種 類         | 厚み(mm) | 幅 (mm) | 長さ (mm) | 捨張合板厚み |
| 積層フローリング    | 12 以上  | 90     | 900     | 9 mm以上 |
|             |        | 150    | 1,800   | 不要     |
| ベニヤフロアー     | 12 以上  | 300    | 1,800   |        |
|             | 9 以上   |        |         |        |
| 直貼り防音フロア    | 12 以上  | —      | —       | 不要     |
| カーペット・塩ビシート | —      | —      | —       |        |
| 畳           | —      | —      | —       | 不要     |

※無垢材フローリング仕上げの場合は、捨張合板厚 12 mmを施工してください。

※床暖房パネルを敷設する場合は、捨張合板厚 12 mmを施工してください。

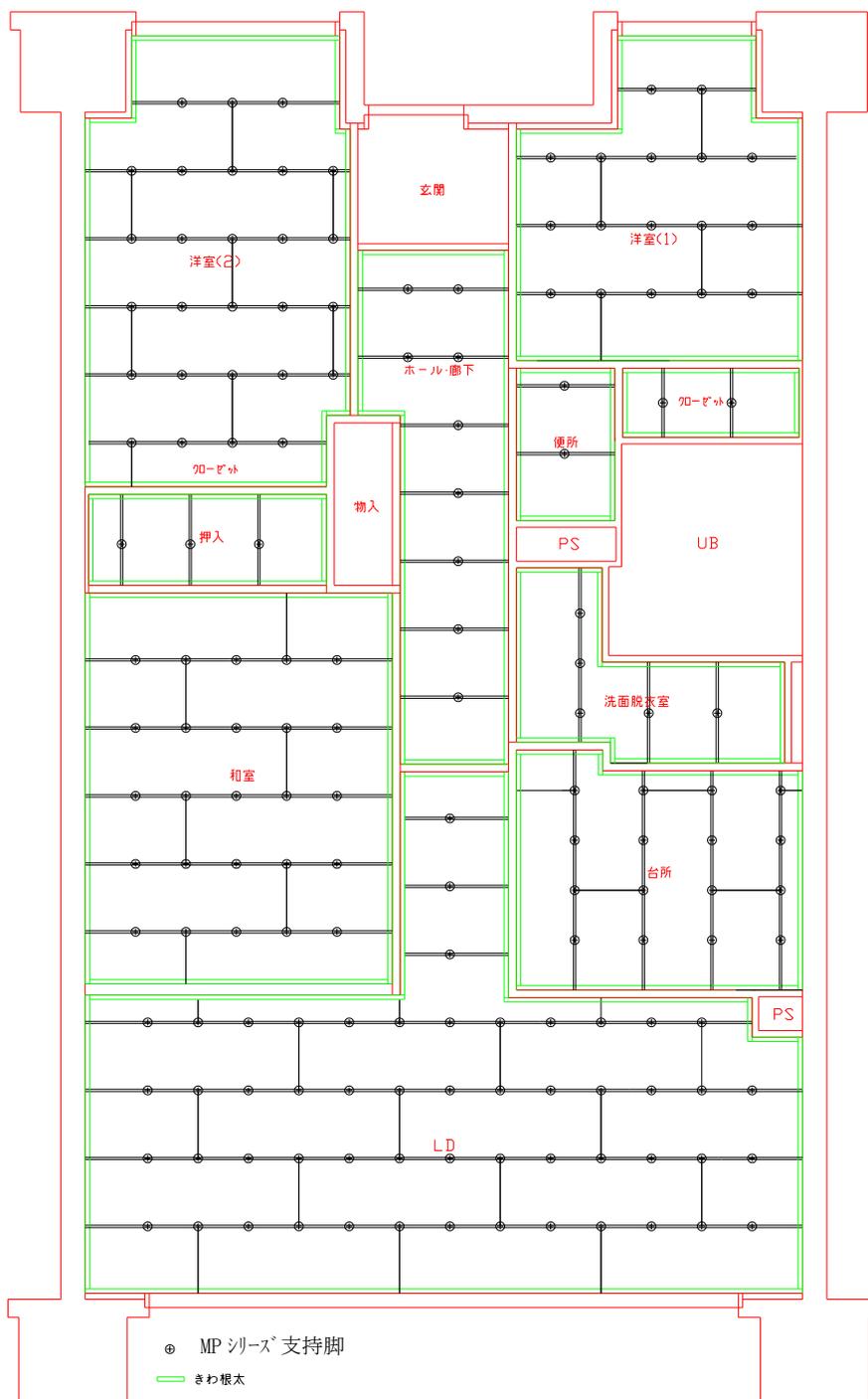
※住宅用途以外に使用する場合は別途ご相談ください。

※二重床に対してフローリングメーカー施工要領書に記載がある場合はそちらを優先してください。

#### 4. 標準割付図

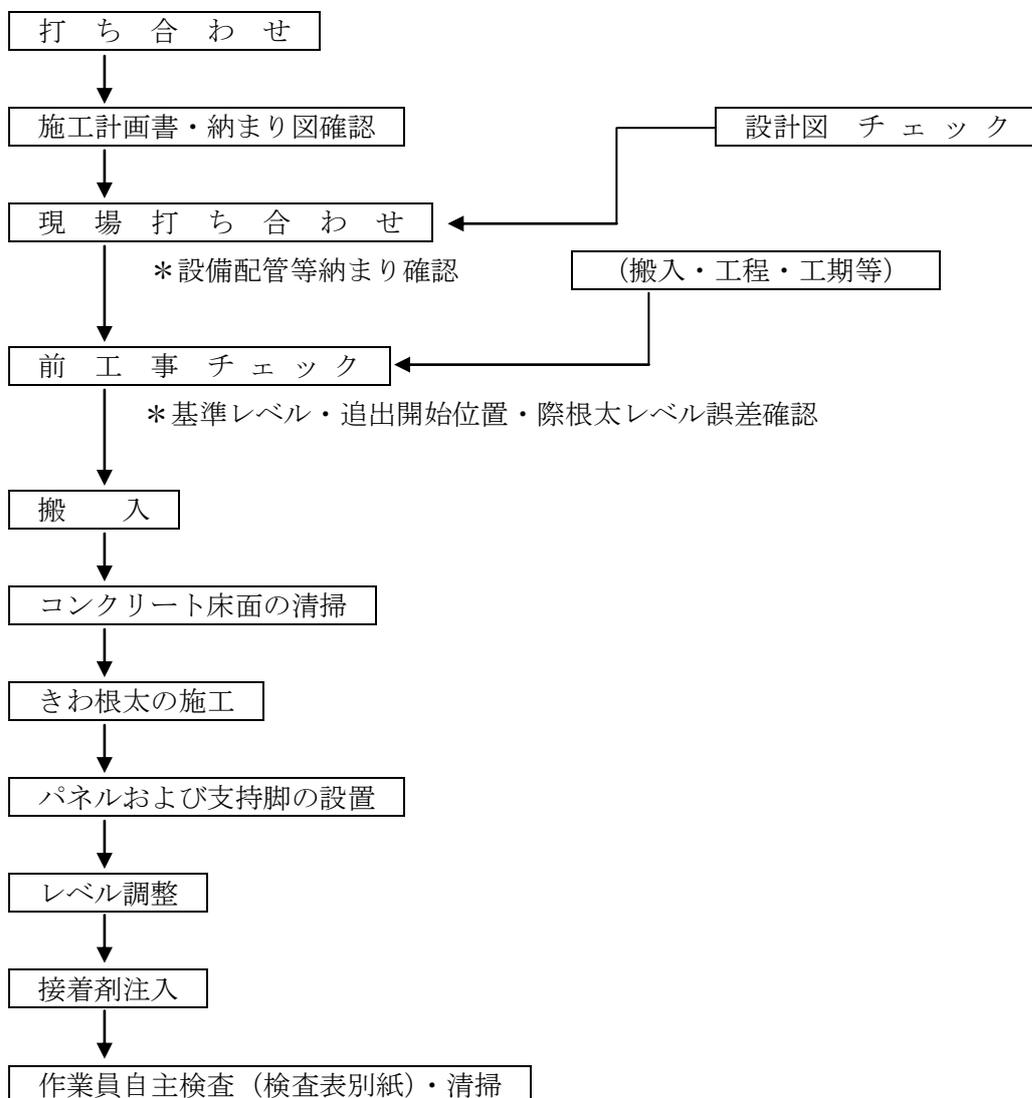
##### ●床パネルの割付け方

- ・ 床パネルの割付けはフローリングと直交方向に割付けて下さい。
- ・ 最後の寸法調整でパネルをカットする場合はパネル寸法が200mm以上となるようにして下さい。200mm未満となる場合は、1列手前から調整して下さい。



## 5. 現場施工フローチャート

---



## 6. 施工手順

---

### 1. 作業前の確認事項

#### ①床スラブのレベル及び不陸を確認

- ・MP支持脚が設置できないような突起的な不陸、傾き等をあらかじめ確認する。施工ができないような状態であれば、ゼネコン様に報告し、補修してもらう。
- ・MP支持脚の調整巾に合わせ、それを超えるような場合には数種類のMP支持脚を用意する。
- ・際根太の高さと掃き出しサッシ、木製建具、家具式クローゼット、配管等との取り合いを確認する。
- ・コンクリートスラブのレベルを確認する。

#### ②荷揚げについてエレベーター、リフト等を確認する。

#### ③搬入車両を確認する。

- ・現場周辺の道路巾、搬入口の大きさ、トラックの駐車スペース等を確認し、実際の搬入に注意する。

#### ④スケジュール調整を行う。

- ・工事用エレベーターの使用等、他工事とのスケジュール調整を行う。

#### ⑤保管場所の確保を行う。

- ・材料など保管する場所は水の掛からない水平な場所で直射日光が長時間当たらない場所を確保しておく。

### 2. 作業前の打合せ

#### ①作業員班長の確認事項

- ・指定書式及び安全に関する書類を作成し、提出する。
- ・安全教育を受講し、作業員に徹底させる。  
(KYK (危険予知活動)、TBM (ツールボックスミーティング) の実施)
- ・作業員の健康状態を確認する。
- ・作業分担、手順を確認・徹底する。

### 3. 有資格者の確認

#### ①建設用リフト、荷揚げ用クレーン運転など有資格者の確認を行う。

#### 4. 機械工具の点検

- ①電動のこなど作業に異常がないか確認する。
- ②持ち込み工具は事前に現場管理者の承認を得ること。  
(安全に関する書類に添付)

#### 5. 保護具の点検

- ①安全帽、安全カバー、作業服装など安全性に問題ないか確認する。

#### 6. 図面仕様の確認

- ①現場と図面の整合性を確認する。
- ②図面の詳細を確認する。(割り付け、際根太種類、納まり、材料、寸法等の確認)
- ③作業範囲を確認する。

#### 7. 運搬作業の点検

- ①水平運搬について以下を確認する。
  - ・安全通路の確保及び凹凸、軟弱さを点検する。
  - ・出入口頭上の飛来落下の養生を確認する。
- ②上下運搬について以下を確認する。
  - ・リフトの諸元、操作の確認を行う。
  - ・リフトの積載荷重等、諸元及び操作の確認を行う。  
(床パネル 約 16kg/枚)
  - ・リフト運転者と合図及び使用条件等の確認を行う。
  - ・操作を確認してから積み込み、取り込み作業を行う。

#### 8. 使用材料の仮置きと配置

- ①各材料は水のかからない、水平で直射日光が長時間当たらない場所に保管する。
- ②床パネル、合板フロアは湿気のない場所にベタ置きする。  
立て掛け厳禁。

#### 9. 床下地面の清掃

木屑、ゴミ等を除去する。

#### 10. きわ根太の施工

根太材をレベルに合わせて壁面に取り付けてください。  
束材を根太材の下に455mmピッチ以内に設置して下さい。

## 11. MPシリーズ工法の施工

### ①スラブ面の清掃と際根太の確認

際根太の取付け箇所が間違っていないか、  
また、際根太が完全に施工されているか  
確認して下さい。

### ②支持脚の仮高さ調整

際根太の高さに合わせて支持脚を調整しておきます。

### ③ー(1) 1枚目の床パネルの敷込み

1枚目の床パネルを際根太にのせ、  
パネルの角に支持脚を仮設置します。

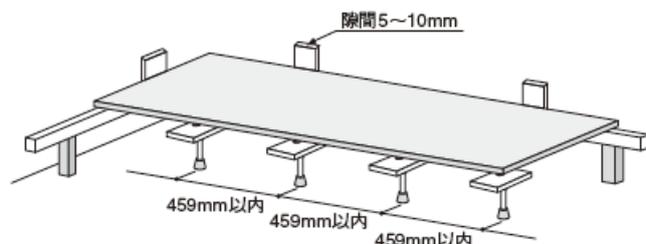
この時パネルと壁躯体との間に5～10mmの隙間をとってください。  
際根太にかかる床パネルをフレキ付皿ビス(3.8mm-38mm、  
ピッチ300mm以内)で固定します。

### ③ー(2) 支持脚の両面テープの剥離紙をはずし459mm以内

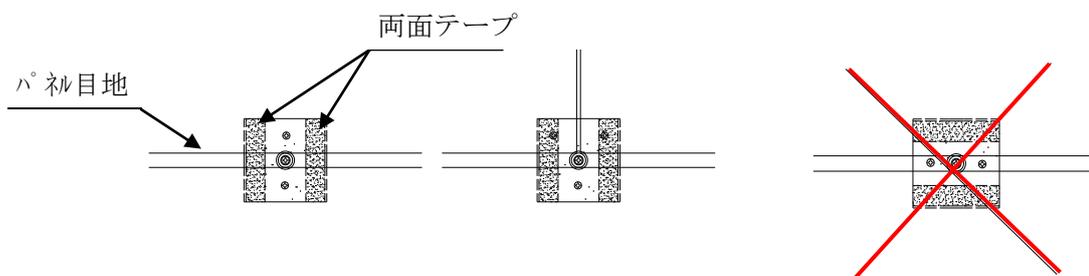
なるようにパネル長辺中央部に支持脚を設置し、

最後に角の仮設置した支持脚を正規の位置に設置します。

この時パネル長辺方向の目地が15mmになるように設置します。



支持脚の設置は両面テープの方向が床パネルの長手方向と直行する  
ようにします。



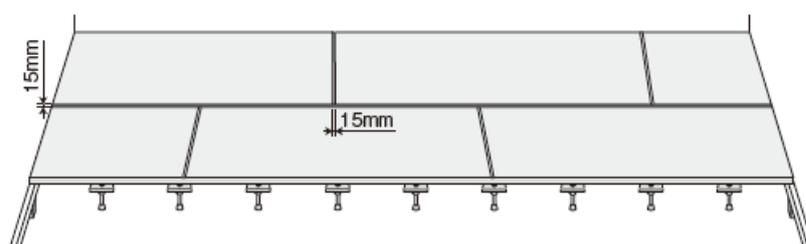
パネル目地段差ができる場合  
があります。

④ 1列目の床パネル敷込み

1枚目と同様に設置します。ここで十字3番ドライバーでレベル調整をします。

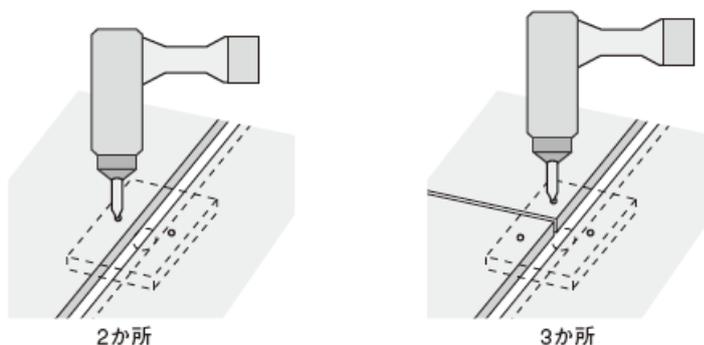
⑤ 2列目以降のパネル敷込み

割り付け図に従いパネルがちどりになる様に敷込みます。床パネルの最終敷き込みの際に、床パネル幅が200 mm以下になる場合は、手前のパネルで幅調節して200 mm程度以上になるように敷き込んで下さい。



⑥ 床パネルの固定

支持脚と床パネルのビス固定は、フレキ付皿ビス（長さ 38 mm 半ネジ推奨）で固定します。以下のように固定して下さい。

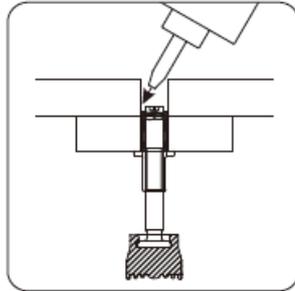


⑦ 最終レベル調整

床パネルを全面に敷設し、最終レベル調整を行ないます。床鳴りが無いかを確認します。床鳴りする場合は、木質フローアの施工前に補修を行ってください。

#### ⑧接着剤によるボルト・ナットの固定

ボルトとナットの間隙を狙って専用接着剤を1 g程度注入して接着固定します。



- \*ナット部にパーティクルボードの切粉が詰まっているようであればエア等で取り除いてください。
- \*接着養生中は床への衝撃は避けてください。  
レベルが狂う場合があります。
- \*重量物の仮置きは避けてください。
- \*床下に配管の有る部分についてはチョークにて印を付けると釘による配管の打ち抜きを防止できます。

#### ⑨自主検査

##### ◎捨張合板の施工

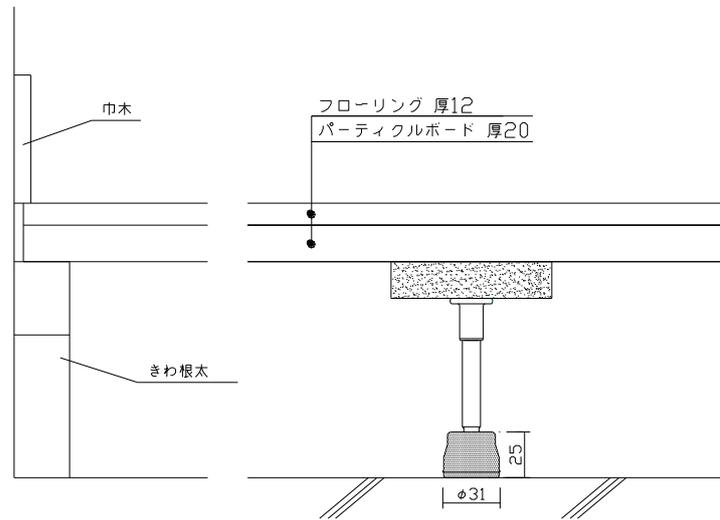
- ・薄物仕上げ材等の場合は捨張合板が必要です。  
捨張合板の目地と床パネルの目地が合わないよう施工してください。この時捨張合板の床パネルに対するかかり寸法は150 mm以上としてください。
- ・捨張合板の貼り方向は、基本的には床パネルと直行する方向に施工してください。
- ・床高が低い場合は、捨張合板を仮置きした際に配管位置をマーキングして傷つけないようにしてください。
- ・捨張合板の張終いの幅は200 mm以上とします。
- ・捨張合板の固定は5.5 mm合板の場合：タッカー(419J相当)にて3×6尺板1枚に対して6本×9列=54本以上とします。  
12 mm合板の場合：3×6尺板1枚に対して  
32 mm以上のスクリュー釘で5本×9列=45本以上  
32 mm以上のビスで303 mmピッチ以下とします。

◎仕上げ材施工

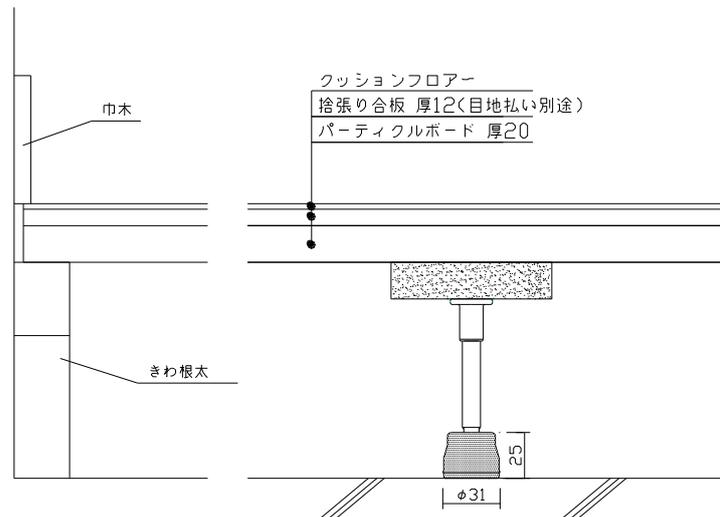
- 床下地完了後は可能な限り早く仕上げ材を施工してください。
- フローリングの施工の際は、床パネルの目地を避けて床パネルの長手方向と直行する方向にて施工してください。  
フローリングと床パネルのかかり寸法は150 mm以上としてください。
- フローリング施工に接着剤を併用する場合は、弾性ウレタン系接着剤を使用してください。
- フローリングの張り始め、終いの固定にはフィニッシュネイル、隠し釘は使用しないでください。

## 7. 納まり図

### ● LD・洋室



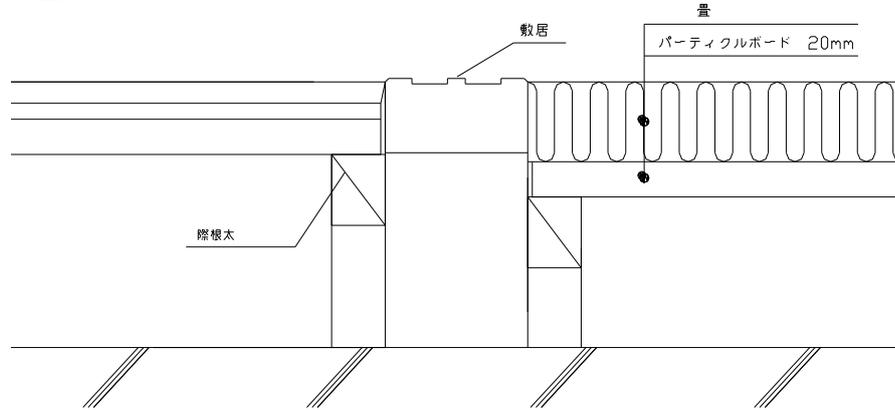
### ● 洗面・脱衣



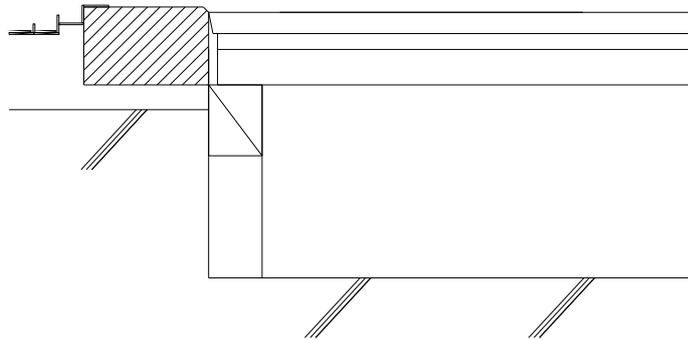
## 7. 納まり図

---

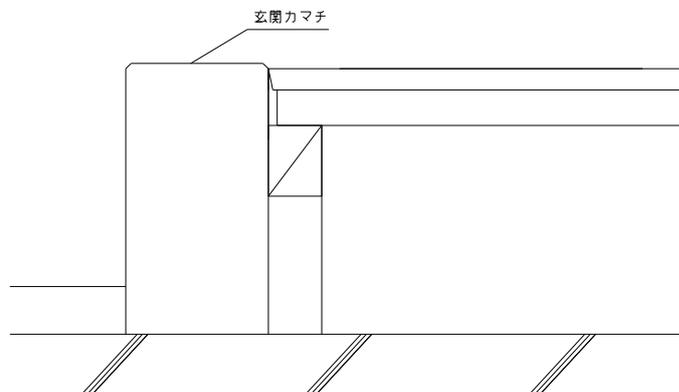
### ● 敷居周り



### ● サッシ周り



### ● 玄関カマチ周り



## 8. 自主検査表

施工チェックリスト

提出日： 年 月 日

| 検 査 内 容                                | 検 査 結 果 |
|--|---------|
| レベルが出ているかを確認する。<br>(3/1000以内)          |         |
| 壁廻り、柱廻りとの取り合いを確認する。                    |         |
| 立ち上がり配管が、接触していないか確認する。                 |         |
| ボルトの調整忘れがないかを確認する。                     |         |
| きわ根太やフリーフロアーの接合部への固定が正しく施工されているかを確認する。 |         |
| ナット部への接着剤注入忘れがないか確認する。                 |         |
| フリーフロアーの上を歩き床鳴りがないかを確認する。              |         |

|           |               |
|-----------|---------------|
| 現 場 名     |               |
| 施 工 日     | 年 月 日 ~ 年 月 日 |
| 検 査 日     | 年 月 日 ~ 年 月 日 |
| 検 査 箇 所   |               |
| 検 査 担 当 者 |               |